**第3回国際業界横断EDI&金流商流タスクフォース**

【審議】

**＜クラス図の表記＞**

* クラス図はEDIメッセージとしての表示ではない、あくまで共通辞書とのデータ連携分析とする。
* 取引設定内容クラス（CI\_ Exchanged Document. Context）はクラス図上からは削除する。EDIプロセスに必要な情報項目（取引識別子、処理日時、テスト区分、データ区分、業務領域コードなど）は、クラス図の外に参考表として添付する。

**＜カナの扱い＞**

* カナ名称は補完情報のLanguage Codeでの指定ができないため、Alternative\_ Name. Textを使用する。

代案：Phonetic\_ Name. Text（Phonetic characters：表音文字）

* 全角カナ、半角カナの両方を使い分けられるようにする。CI\_ Noteの~~Subject. Code~~Cointent. Codeで文字指定（JP：日本語、KN：全角カナ、HK：半角カナ（事務局追記））できるようにする。
* Description. Textのカナへの対応を検討する。🡺Colour\_ DescriptionおよびSize\_ Descriptionは、Colour\_ NameおよびSize\_ Nameとし、それぞにAlternative\_ Nameを追加する。（事務局追記）

**＜項目対応の修正＞**

* 「333 取引番号区分」の意味が不明。🡺対応BMSコード表より、取引番号の発番者（発注者、卸、小売など）と発番タイミング（発注時、出荷時など）の組合せを定義するもの。注文情報取引内容クラス（CIOH\_ Supply Chain\_ Trade Transaction）直下のBBIEとして追加定義する。（事務局追記）
* 「334 不定買区分」は「334 不定貫区分」の間違え。製品特性の一つとして扱う。

🡺（注）**不定貫**(フテイカン) とは、個体ごとに重量が異なる商品をいう。 具体的には、食肉、魚、等の量り売りされる商品をいう。 **定貫**が対義語。 **定貫**とは、個体ごとに重量が異ならない、同一の商品をいう。

**＜テスト区分＞**

* 「9 テスト区分ID」はデータ連携対象とし、CI\_ Exchanged Document\_ Context. Test. Indicatorに対応付ける。

**＜項目名の不一致＞**

* 流通BMSの項目名は正確に記述する。

334 不定買区分⇒不定貫区分

32 最終の納品先GLN⇒最終納品先GLN

102 直接納品先納入日⇒直接納品先納品日

103 最終納品先納入日⇒最終納品先納品日

233 ラベル自由使用欄⇒ラベル自由使用欄（印字用）

234 ラベル自由使用欄（半角カナ）⇒ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）

53 請求取引先名称⇒請求取引先名

54 請求取引先名カナ⇒請求取引先名称（カナ）X

138 税合計金額⇒税額合計金額

**＜必須項目対応＞**

* 流通BMSで必須項目については、繰り返し指定を（1..1）または（1..n）とする。

**＜送受信項目への対応＞**

* 受信側のITシステムで、流通BMSで定義された項目の全てを処理できない場合についての対応方法につき、次のような考え方が提言された。

ITシステムで再利用または返信対象のデータと、ITシステムは対象としない業務データに区分する。前者のデータはITシステムのアプリケーションに取り込み、後者のデータは表示／印刷して人手を介して業務で使用する。

**＜今後の作業＞**

1. 本日の審議結果を反映して「発注」のデータ連携表を修正🡺事務局
2. 「発注」のデータ連携結果を参照して「出荷」（🡺日本情報通信）および「請求」（🡺富士通エフ・アイ・ピー）のデータ連携表（メッセージ形式）を策定
3. データ連携分科会（1月29日）にて策定したデータ連携表を審議
4. 流通BMSコード表のデータ連携を検討